【様式４】海外展開事業名：「〇〇〇〇〇」 　※　事業概要資料として、ワード又はパワーポイント３枚以内で作成します。また、採択された場合、３．補助事業（４）審査結果の通知にある、国・地域名、プロジェクトの名称、事業概要等として、公表できる範囲をA4、１枚で提出いただきます。

|  |  |
| --- | --- |
| １．実施者及び海外展開事業の実施主体となる法人名　（申請法人名）　　○○○　（海外展開事業の実施主体となる法人名）　　○○○　（連携を図る法人名）　　○○○ | ３－５．事業の実施体制（単体、PPP（官民連携）、SPC（特別目的会社）、コンソーシアム、現地企業との合弁など、事業形態や役割分担、事業を実施する際に想定するスキームなどについて簡潔に記載）３－６．事業の実現に向けたこれまでの取組経緯と今後のスケジュール（海外展開事業の実現に向けた、国内でのコンソーシアム形成、現地調査の実施、現地の政府・自治体からの許認可取得に向けた説明・協議、現地でのパートナーとなる法人・団体探し等について時系列で時期と取組の内容を記載）４．実現可能性調査の全体像４－１．現状調査の概要（本業務における実現可能性調査等における調査項目と項目毎の調査手法を記載。また、環境負荷低減効果、事業性（採算性）、社会的受容性等について、それぞれその評価手法について記載）４－２．調査の達成目標（最終的な海外展開事業を見据え、今回の調査において達成することを目指す具体的な目標を記載）５．関係者合同ワークショップやイベントを実施する場合（ワークショップ開催の目的や内容（テーマ、参加者など）について簡潔に記載）６．スケジュール（実現可能性調査の実施を含め、海外展開事業の実現に向けた今後のスケジュールを記載）７．写真や図表を使用して、事業の全体像のイメージを表示 |
| ２．申請金額　　　　申請金額　　　　　　　○○○円 |
| ３．海外展開事業の概要３－１．海外展開を計画している事業の概要（対象地域）（処理対象廃棄物種類）（利用技術、導入規模）（事業内容）３－２．対象地域の廃棄物処理の具体的課題（対象地域を中心とした社会・経済状況、海外展開事業の処理対象廃棄物の発生量・処理の状況、廃棄物処理・リサイクルの制度・政策等）３－３．事業の環境負荷低減効果（３Ｒの推進、廃棄物の適正処理、温室効果ガス排出削減、その他の環境負荷低減効果を可能な限り定量的に記載）３－４．事業の実現可能性（事業採算性）（イニシャルコスト、ランニングコスト等の費用、廃棄物処理受託費や再生品・エネルギー売却収入等の収益を可能な限り定量化し、採算性の評価を記載） |